

ひたち海浜ゲームをクリア

全日本スプリントオリエンテーリング大会 2010年12月12日 茨城県ひたちなか市

まるで TV ゲーム。次々と現れるシーンをクリアして次のステージに進んでゆく。

2010年12月12日 茨城県ひたちなか市
全日本スプリントオリエンテーリング大会



レースを走る筆者・木村

M35A で優勝

民主党の惨敗に終わった茨城県議会議員選挙が行われた2010年12月12日、同じ茨城県のひたち海浜公園では全日本スプリントオリエンテーリング大会が開催されていた。筆者・木村は M35A クラス (男子 35 歳以上) に参加し、優勝した。来年からは M50A (男子 50 歳以上) のクラスに参加できる年だというのに優勝できるとは思わなかった。2位の小林岳人も同じ年、若いオジサンたちももっとがんばってよとツッコミたくなる。

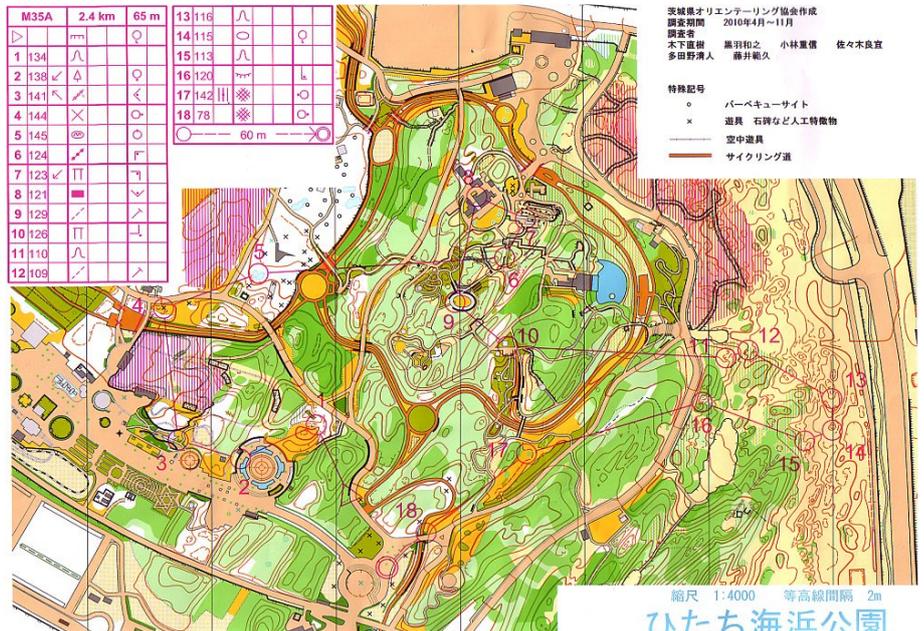
遊園地ゾーンで痛恨のミス

M35A コースのスタート直後に森を抜けたと思ったら、いきなり遊園地に突入。目の前に現れる大型の遊具、空中に浮かぶコースター。コースは大型遊具の下にあるトンネルを抜けてゆく。

目の前に現れるザコキャラを次々とやっつけてゆくうちに余裕が無くなり、ふっと前を見ると巨大観覧車が現れる。パニック！ コンパスを見ると 90 度誤った方向に駆けだしているようだ。ぐっとこらえて元の場所に駆け戻り、よくわかんないけど無理やり地図と現地を合わせてルート修正。目の前に自転車道が現れ、自分の仮説が正しかったことが判り、一安心。これで遊園地ゾーンをクリアだぜ。大きなミスをしたが気にせず次だけを考える。

ボスキャラ・迷宮ゾーン

キャンプ場内の簡単なエリアを全速力で抜けたら今回のメインといえる迷



走った M35A クラスのコース図。同じトレインと思えないほど場所によって特徴が異なる。

宮ゾーンに突入。複雑に絡み合う遊歩道。微地形の上にそれを立体で結ぶ木道まで絡んでくる。これを初見でタイムトライアルだからこの競技は厳しい。コースのボスキャラとも言える建物内のコントロールも出現。次々と現れる珍妙な風景を何とかクリア。

路面状態が固いことから走るペースをアップする。くねくね曲がるこのゾーンでは柔らかく体をしならせるように走り、スピードを殺さない。迷宮を正確に読み解くより、多少の速回りを厭わず、方向とスピードの維持を第一に走る。あとでラップを見るとここでトップに出たようだ。

苦戦した砂丘ゾーン

全速力で駆け下りる坂の向こうに青い海が広がる。ここからトレインがガラリと変わって砂丘ゾーンとなる。見えそうで意外と見通しの効かない砂丘で苦戦する。足元が変わってスピードと距離感覚が違うせいだろうか、すぐに対応できない。じりじりと遅れて詰め寄られている。だが基本に立ち返った丁寧なナビゲーションで何とか切り抜ける。

ウイニングロードゾーン

砂丘を抜けると高速ロード区間。最後の力を解放し一気にペースアップ。ロード区間でベストラップを連続して

叩き出し、逃げ切った形となった。

ひたち海浜公園に組まれたコースは実に面白かった。これ以上のスプリント向けのトレインとコースはないと思える素晴らしいコースだ。



ニューヨークヤンキース所属の井川慶全日本スプリント M21A に参加した。フィニッシュして汗だくのところを詰めかけた多くの参加者にサインと記念写真を求められた。井川の実家が茨城にあり、日本で行う自主トレの一環としてこの冬はオリエンテーリングに多く参加している。12月現在、阪神タイガースが井川の再獲得に動き出しているという報道がされている。

(木村佳司)